



4月1日(土) 諫早市高城会館にて (諫早高校隣)

発行 長崎県高等学校教職員組合 7850-0013 長崎市中央2丁目2番5号 長崎高教組会館  
☎ (095)-827-5882 Fax (095)-826-2976  
編集責任者 佐藤真一郎 購読料 一部10円  
組合員は組合費を含む メールアドレス naga-kks@fsinet.or.jp



納得できない場合は苦情相談制度があります

# スプリング・カフェ開催

(旧名：全県分会会長会・支部代表者、青年教職員、女性教職員交流会)



4月1日諫早市高城会館(諫早高校隣)にて「スプリングカフェ」を実施いたします。この集まりは旧名・全県分会会長会として、はじめて分会長になる組合員に本部から分会長としてやってもらいたいことや参加者から現場の要望などを聞き取り、年度初めに意見交流を行っていました。



これまでの全県分会長の趣旨を残しつつ、23年度は本部主催で「共済カフェ」を参加



長崎商業での共済カフェの様子(10月31日)

者向けに実施します。組合加入の入口として、共済加入運動を促進し、未組合員へのアプローチを共有していきます。

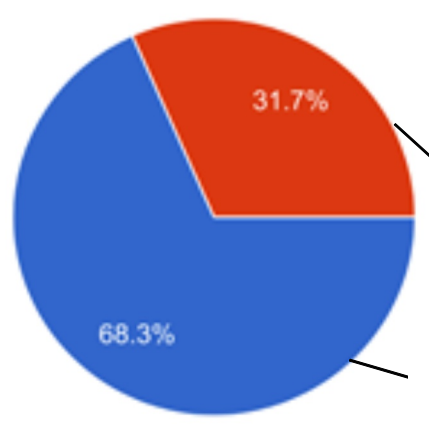
高教組は「組合員同志のつながりを深め、新加入に向けた取り組み」として、全教共済の加入者を増やすことを提起しています。相互扶助の精神の全教共済の加入者を増やしなから、全教運動への理解を広げ、教職員組合への理解を深めたり、抵抗感を軽くしていき、長崎高教組の運動への理解推進を加入までつなごう。

組合員であっても、まだ全教共済と組合運動のつながりをイメージできるひとが多くありません。スプリングカフェに参加して、自信をもってすすめることができるように考えています。

## 全教共済で助けあい支えあい

### 人事評価制度(賃金リンク) アンケート回答中間報告

納得できないときは、苦情相談制度があることを知っていますか



高教組は3月8日付けで人事評価制度賃金リンクについてアンケートを全教職員に依頼しました。3月16日時点でアンケートの集約は274名分の回答が集まっています。

7日以内に限られ、電話で相談内容を受け付けてもらえませんが、この7日間で本人の了解を取り、組合として県教委に強く申入れを行います。組合員で納得がいかない評価があり、苦情相談制度の利用希望があれば、その内容をご相談ください。この評価制度は始まったばかりで、評価者側も初めて直接教職員へ評価を伝えていきます。

この評価制度は始まったばかりで、評価者側も初めて直接教職員へ評価を伝えていきます。管理職も県教委もいわば手探り状態です。不当な評価が下されれば、組合のメリットを十分いかしていただき、高教組としては完全撤廃を目指しつつ、不当な評価を組合員が受けられないように、体制を整えております。

組合は であい ふれあい たかめあい

# 物価高騰から生活を守れ!!



全労連の呼びかけに産別の労働組合が日比谷公園大音楽堂に集まった 3/2



全国各都道府県から教職員団体が集結した。3/2 日比谷公園大音楽堂

## 23国民春闘勝利 3・2中央行動

3月2日に行われた「23国民春闘勝利3・2中央行動」(主催 国民春闘共闘・全労連)に、長崎高教組から2名が参加しました。「低賃金と物価高騰から生活を守れ!賃金上げろ!最低賃金全国一律実現!軍拡・増税ではなく、憲法いかし、社会保障の充実を!」をスローガンに、広範な労働団体との連帯・共同して、1800名が参加し、取り組まれました。

午前中に、公務部会人事院前要求行動が行われ、その中で、物価高騰に対応する「緊急勧告」を求める要求と、教員不足の実態と教職員の処遇改善を求める発言がありました。午後から「23国民春闘勝利!3・2中央総決起集会」を日比谷野外音楽堂で開催し、多くの加盟団体の代表者から過酷な現況と切実な要求がなされました。

主な要求内容は、①公務員賃金の大幅な値上げ、②全国一律最賃1500円の実現、③労働法制改悪の阻止、④社会保障と公務・公共体制の拡充、⑤インボイス制度の廃止(中小企業と家族農業を守る)、⑥デジタル化による公共の破壊の阻止、⑦改憲の阻止と防衛費増の反対などです。その後国会請願デモを行いました。また、全国一律最賃制度の実現めざす国会行動として、14万8130筆の署名の提出と国会議員への要請行動を実施しました。要請の内容は、全国一律最賃1500円の実現と大学・研究開発法人での雇止め問題の解決を主な内容として行いました。

多くの課題が山積していますが、それぞれができることを出し合っ、全ての人間が、最低限の生活ができる社会にしていこうという頑張りましょう。

## 県労連 春闘共闘「山場の行動」 防衛予算よりも教育予算の充実を!!



上...佐藤書記長 下...岡山執行委員 3月9日長崎市浜町アーケード入口(鉄橋)

3月9日に県労連春闘アピール山場の行動に長崎高教組から4名が長崎市の鉄橋(浜の町アーケード入口)にて、街頭アピールを行いました。書記長が教育情勢について、また、岡山執行委員が郵政ユニオンのメッセージを代読しました。以下は書記長がアピールした概要です。「文科省・教育委員会からも働き方改革が叫ばれ、少しずつ学校の働き方は変化しています。ICTが入り、コロナによっても学校行事が精選されました。しかし、もう各学校まかせの業務改善も万策尽きてしまったのが、現状です。働く人に対して絶対的な業務量が、多く、定時で上がることはとても難しい。教職員の努力によって、これまで、学校のサービスを支えている。学校は、もう限界ではな

たが、もう限界ではないかと思えます。今の教育サービスを維持するためには、学校現場に人を増やすしか方法ありません。

私たち長崎高教組は、毎年、ゆきとどいた教育のための生徒数35人の少人数学級を求めて署名を行い、長崎県に教職員増員の請願書を提出しています。県議会では少人数教育のメリットをみとめ、デメリットはないとしながら、『人を雇うには経費が掛かりすぎる』ことと、少人数学級にすれば、子ども同士の切磋琢磨がなくなる」として、教職員を増やす請願は反対多数で却下され、学校の人手不足は慢性的な状態からぬけることはできません。

学校では悩みを抱える子どもたちも多く、その悩みも多岐にわたっています。多くの教職員はできる限り、子どもたちに寄りそいたいと思っています。しかし、多くの業務からその時間を捻出することができない状態です。県や市町の教育委員会は、学校の相談業務を補うものとして、スクールカウンセラーやスクー

ルソーシャルワーカーを各学校に配置しました。県教委や市教委は全ての学校に配置したと実績を誇りますが、その実態は常駐はおかず、非正規雇用でいくつかの学校を掛けもちさせて、賄っている。子どもたちの中に

はカウンセラーのカウンセリングを受けるのに、予約してから2週間待たなければいけない。10代の子どもたちにとって相談のつてももらえない2週間はあまりにも長すぎではないでしょうか。

教育に予算を流す国や自治体に、安定的な繁栄はあるのでしょうか。私たち教職員は、教員不足と教職員の数を増やして、子どもたちに一度しかない学校生活を充実してもらいたいと願っています。

国や県に、教育の予算を上げてもらい、子どもたちが学校生活を楽しく過ごしてもらいたいのが、私たちの願いです。防衛費より、教育費を上げてほしい。これが私たちの思いです。

組合は であい ふれあい たかめあい

総合共済 毎月加入 600円

ホームページからも申し込みできます!

全国のなかまの助け合い

毎月加入 600円

退職時には掛金総額が給付

結婚・出産などの人生の節目にお祝い給付

全教共済